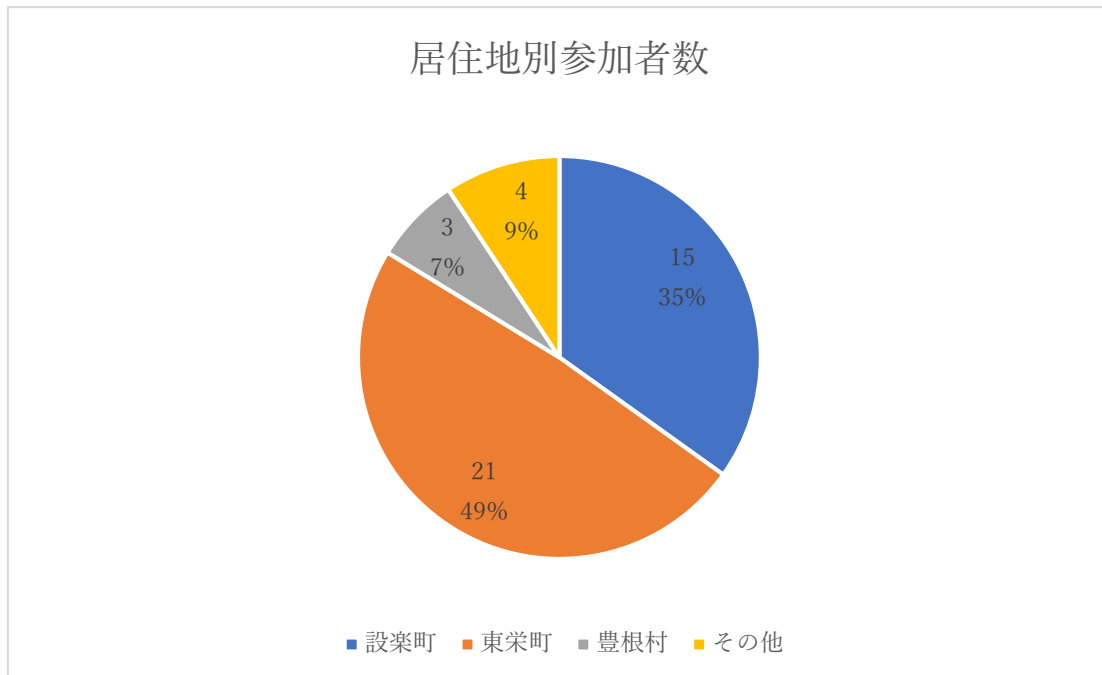


## 令和4年度在宅医療・介護連携推進事業住民啓発講演会 アンケート結果

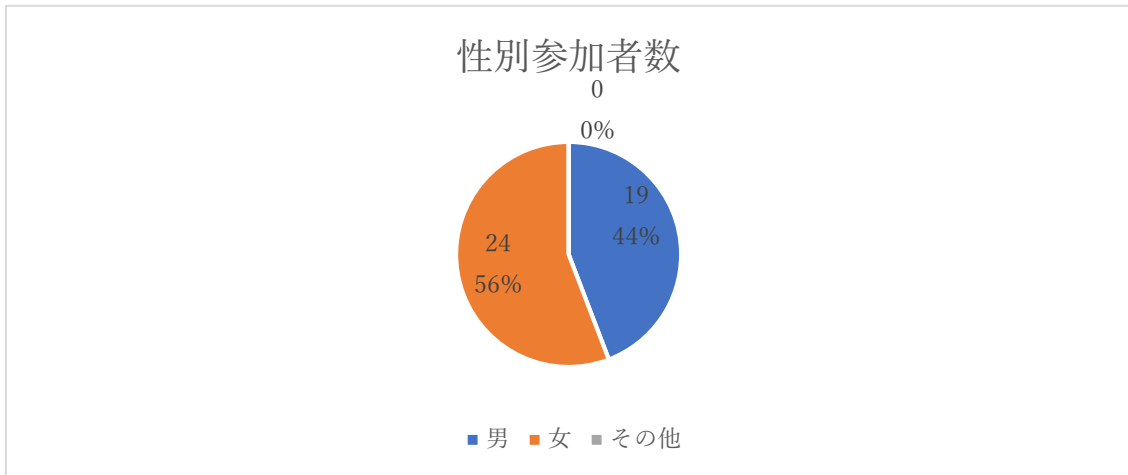
- 名 称：「在宅医療と終活～自分らしい最期の迎え方」  
第1部「東栄診療所のいま」  
～無床化・移転をへて、変わったこと・変わらないこと～  
講師一早川史広氏（東栄診療所長）  
第2部「終活は必要？」  
～まわりのために、あなたのために～  
講師一佐々木一也氏（終活アドバイザー）
- 開催日時：令和4年11月26日(土)13:00～15:00
- 開催場所：本会場—東栄ひだまりプラザ会議室  
WEB会場—設楽町役場議場、豊根村役場第3会議室  
東栄ひだまりプラザ運動指導室
- 延べ参加人数：44名

### 《アンケート提出者全体の回答数分布》

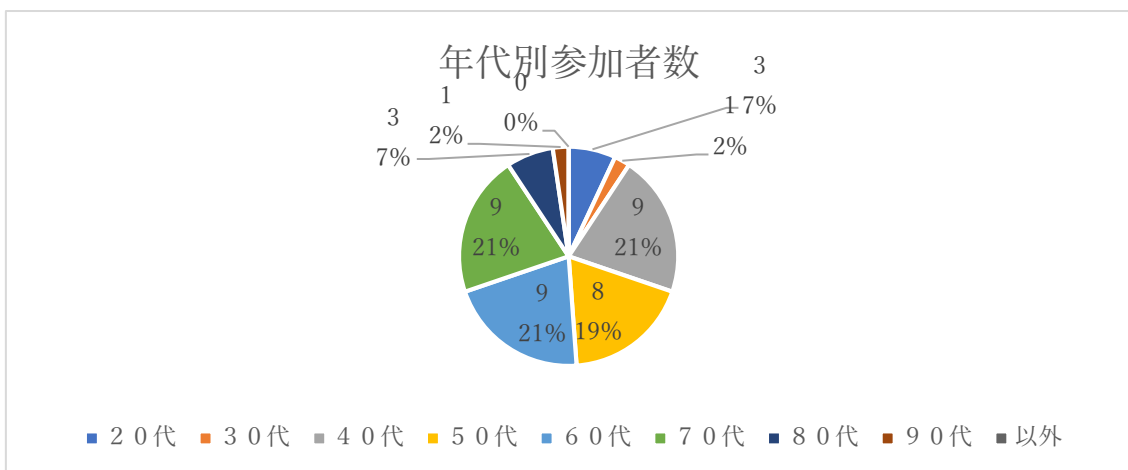
- ・居住地をお答えください。



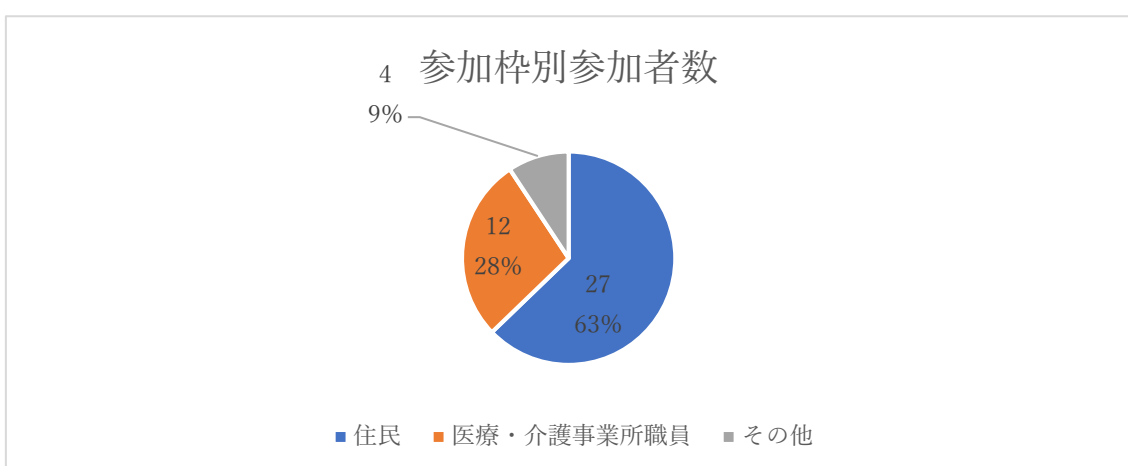
• 性別をお答えください。



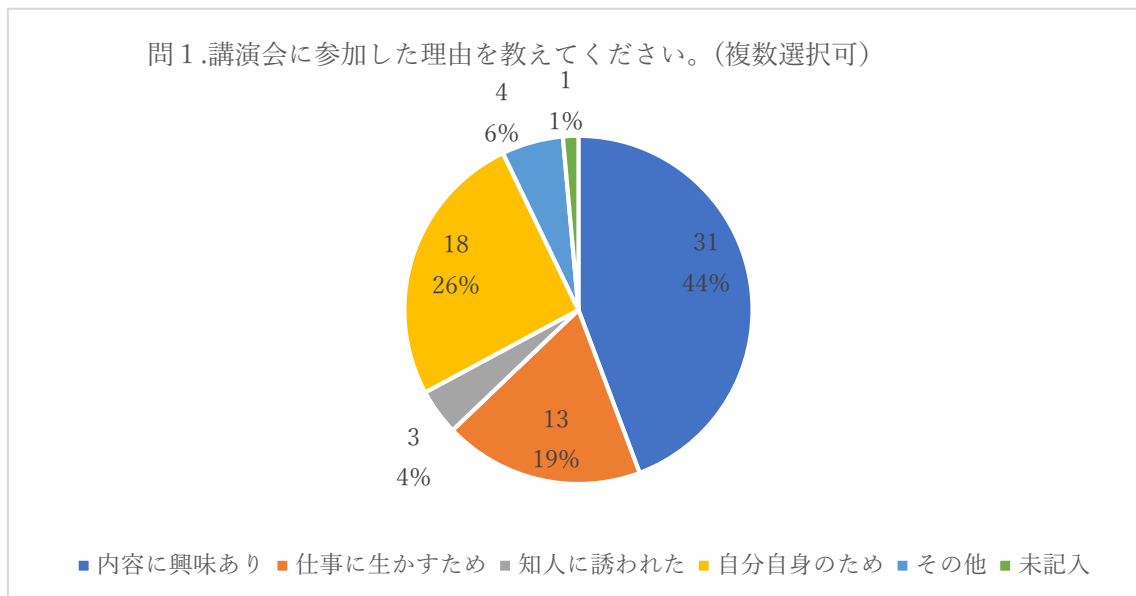
• 年齢をお答えください。



• 参加枠を教えてください。



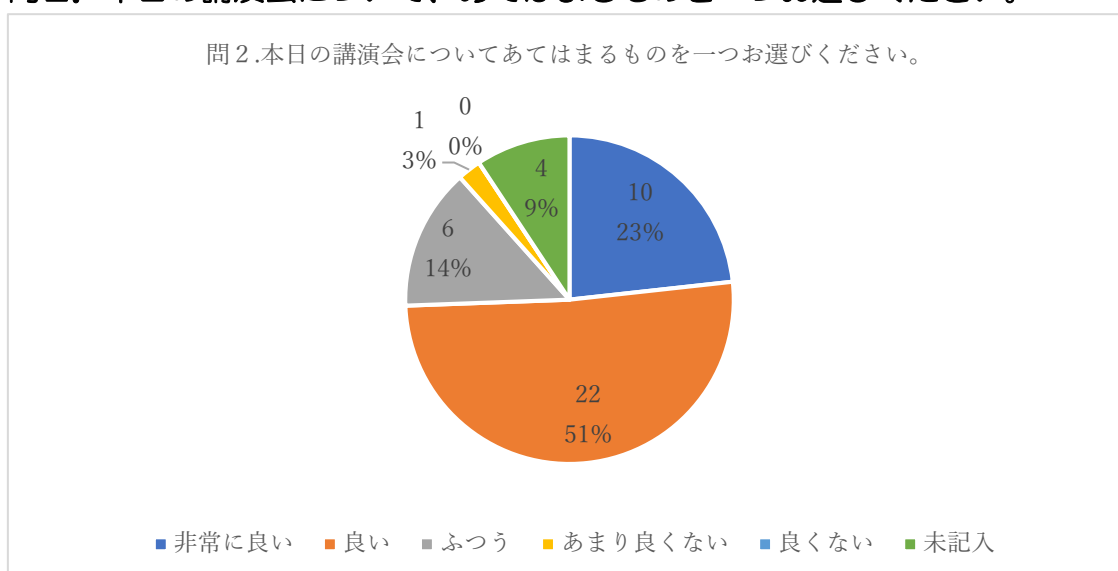
## 問1. 講演会に参加した理由を教えてください。



### ○その他の内容

- ・両親と同居
- ・在宅介護中
- ・主人が病人であるため
- ・相続の手続きも聞きたかったため

## 問2. 本日の講演会について、あてはまるものを一つお選びください。

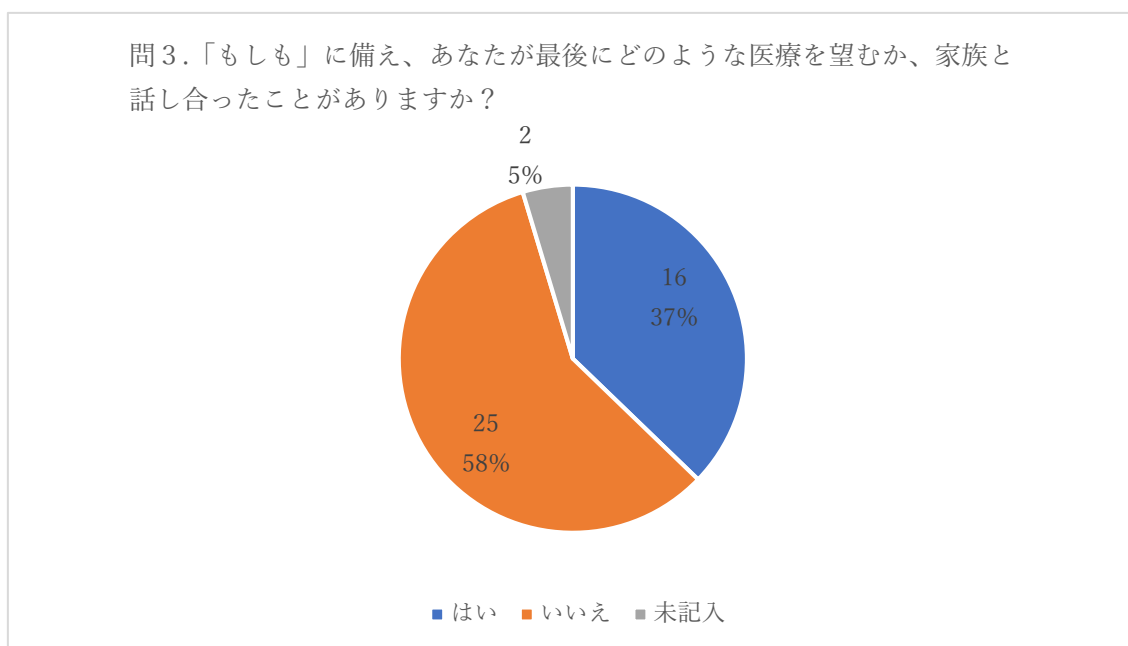


### ○その他意見

- ・早川先生の今後の話と伊藤先生の歴史的経緯を絡めた何か含みのある話を聞きたかった。

- かかりつけ医への認識を喚起する話題が欲しかった。
- 画面が見づらかった。
- ペーパーレス化して欲しかった(講演の内容、画面に出たもの)。

### 問3. 「もしも」に備え、あなたが最後にどのような医療を望むか、家族と話し合ったことがありますか？



#### ○「はい」の内容

- 延命処置について
- 夫と延命治療は行わないと(義両親とは話していない。在宅介護を強く希望しているが)。
- 1人だけの生活であるため、全てが不安。娘は〇〇県に連れていくというけど、東栄で最期を送りたい。5人で安否確認ラインをしています。
- 主人と私は元気なうちに施設に入る。薬漬けにならないようにしたい。社会性を忘れないで生活する。
- 痛いのはいや、管に繋がれるのはいや。
- 入院ベッドがないと困るので今後どうするか。
- 最後は何もしないことを伝えてあります。
- 最終的にはホスピス等を考えていること。なるべく自宅でと考えているが。
- 延命治療は不要、但し痛がっていたら痛み止め治療はして欲しい。
- 回復の見込めない事故、病気の場合、急変時DNR。
- 延命治療は不安。
- 無駄な延命治療は望まない。

- ・延命治療はしてほしくない。

#### ○「いいえ」の内容

- ・まだ死を意識する年齢ではないため。
- ・自分では考えているが話せていない。
- ・まだ大丈夫と思ってしまっている。
- ・50代なので、まだそんなことは考えていなかった。
- ・話し合う機会がなかった。
- ・家族は妹ですが、〇〇県に住んでいるため話し合いができていない。
- ・まだ早いかな・・・とそのような機会も持たずにいました。
- ・機会をみて話したいと思っはいるが機会がなかなかない。
- ・大切なことだとわかっているつもりですが、今のところ主人も私も不自由なく生きているので・・・これからの課題だと思います。
- ・まだ身近に感じていないから。
- ・現在は、まだ病院へ通うこともでき、年齢的にも医療機関にかかることがあまりないことから、そこまで考えたことがない。
- ・まだ若いと思っているので。
- ・「死」を差し迫った話題にとらえたことがなかったから。
- ・まだ若く必要と感じたことがないため。
- ・まだ実感として考えられないため。
- ・親の死が先で、自分の死は現実的ではないから。
- ・現在のところ、必要性を感じていないため。
- ・娘が主任ケアマネをしているので全て面倒は任せてお互い了解済み、主治医に時々お願いしてる、相談もしている。

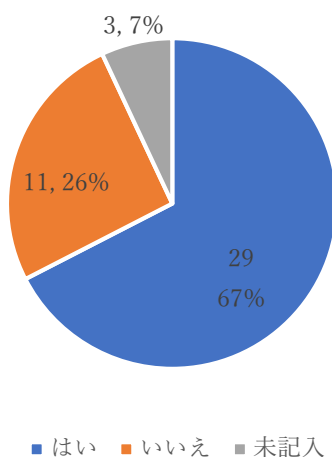
#### 問4. ご自身やご家族が自宅で療養するにあたり、どんな支援や情報があれば良いと思いますか？

- まずは両親のサポート方法が知りたい。
- 困った時にすぐに連絡し、対応してもらえるようなシステム
- 顔の見える連携
- 安心して自宅居られるような支援、情報
- 仕事を継続できるようにして支援して欲しい。(自分の夫や自分自身)
- 町内又は近隣市町村の資源について
- 医師や看護師に相談しやすいとありがたいと思う。
- 制度と合わせて個々の事例(現実のような問題課題がありどんな対応をしたかを等)も併せて情報としてあると良い。
- 分かり易いシステムと料金の提示。

- 訪問介護、訪問ヘルパー
- 1人で頑張るつもりでも、どんなことが起こるかわからない。不安。
- 自宅で療養できることを一番望んでいます。
- 歳と共にできない事が多くなります。手助けをしてくれる方がいたら助かります。社協でお助けマンを利用してとても助かりました。
- 移動手段をいろいろ選べると嬉しい。
- 社協の協力や民間サービスが利用しやすいと嬉しい。
- 社協さん、ケアマネさんたちと連絡が取りやすい状況があればいいです。
- 医療を自宅で受けられるか？できれば入院は最小限にしたい。
- 掃除が必要。
- ベッド等リース費用の援助。
- 困ったらすぐに駆け付けて欲しいです。
- 急な体調変化の場合、土日、早朝、夜間等はどこへ相談すればいいのか？
- 休日などに急に具合が悪くなった時の対応。
- 病人(介護されている人)はもちろんです、介護する人のサポートをお願いしたいです。介護する期間が長くなれば心のケアとか自由になる時間が欲しいかも。
- 医療がすぐに受けられる支援。
- 医療よりも生活支援を望む。
- 不足の事態への備えに関する情報、体調不良時にどこへ連絡すればいいか、何を伝えればいいのか、何を持っていけばいいか。
- 何かあった場合、すぐに医師と連絡が取れる支援(オンライン等)。
- あまりイメージができない。
- 災害時の支援情報
- 在宅医療、介護支援、費用面の支援など。
- 介護支援制度について
- 訪問介護
- 訪問診療、訪問看護の充実(24時間対応)、家族など周囲の理解と協力。
- 夜間、休日の医療体制の充実や緊急時に迅速に対応できる体制。
- 夜間や休日などでも相談ができる体制。
- 北設のどのエリアに住んでいても同じ医療を受けることのできる支援。
- ヘルパー、訪問看護(24時間、休日も対応)、信頼できるかかりつけ医、安心して出かけられる場所、家族近所の理解、移動支援
- 行政側はどこまで支援できるか、住民に分かり易い文章、通知必要と思う。
- リハビリ(退院後など)が継続的に受けられる病院などの情報。

## 問5. エンディングノートの作成や終活の相談ができる場所があったら利用したいですか？

問5.エンディングノートの作成や終活の相談ができる場所や機会があったら利用したいですか？

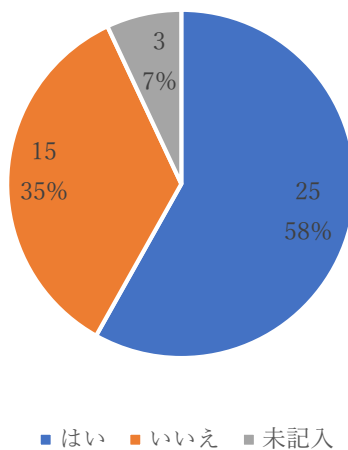


### ○その他意見

- ・済みました、書いてある。
- ・準備はしているが記入していない。
- ・内容や書式見本の提供、司法書士や税理のご指導の機会が設けられれば利用したい。
- ・すでに作成済です。

## 問6. あなたが亡くなってしまった後に、心配なことがありますか？

問6.あなたが亡くなってしまった後に、心配なことはありますか？



## ○「はい」の内容

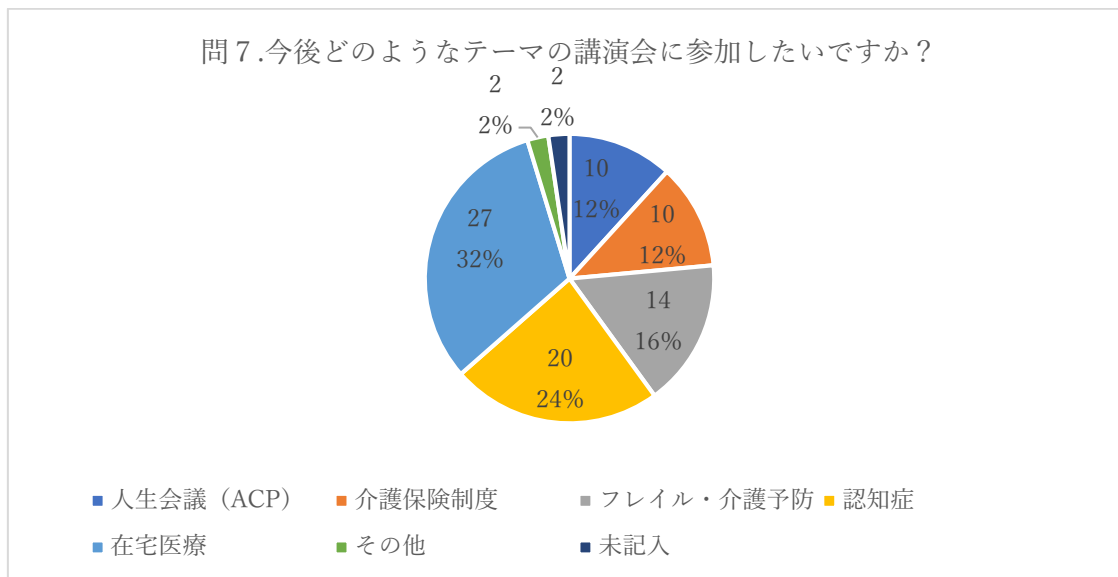
- 子どものこと（生活、学費、将来等）。
- 子どもがまだ小さいので成人までは支えたい。
- 子どものこと。婿なので、夫の人家に帰って子どもを育てるのか。このまま私の実家で子どもを育て、私の両親は夫が看てくれるのか。
- 終活の話を聞いて、片付けができていないことがたくさんあることを実感しました。
- 多分誰もが共通する内容です。
- 過疎地における今後
- 娘に書いて残してある。
- お金のこと、住宅
- 子どもの将来
- 夫の今後について
- 夫婦でいますが、残された主人が心配。
- 娘と孫の生活
- 残ってしまったものの処分
- 残された家族の生活等
- 所持している記録媒体の完全破壊
- 葬儀の規模や様式、自分の書籍や書類の始末が生前に話し合えるか、間に合うか心配。
- 相続
- 自宅や畑等の管理
- 子どもの将来のこと
- 具体的に思いつきません。
- デジタル資産
- 家の片付け

## ○「いいえ」の内容

- あるような、ないようなところでは。
- 自分なりに整理したから。



## 問7. 今後どのようなテーマの講演会に参加したいですか？



### ○その他の内容

- ・がん患者の交流会
- ・地域共生社会、包括ケアシステム、保険制度の持続的負担について
- ・今を元気に過ごすためにはどうしたら良いか？
- ・認知症にならないような予防策(日常どうしたら良いか?)

## 問8. 今回の講演会のご感想などがあればご自由に記入してください。

- 在宅医療でできること・できない事をもう少し詳しく知りたかった。
- 「終活」の話の中で、デジタル情報の管理の部分での話は「ID・パスワード」は現在のセキュリティ水準からすると問題があると思います。
- まあ講師の方の経験が少ない(多分)ため、全体のあるとラインのみでももう少し参考になる事例があると良かったです。東栄診療所の早川先生の話は、これまでの東栄病院からの歴史(推移)も含めて数字をグラフで分かり易くしながらの内容で、参加者に理解しやすかったと思います。
- 終活のお話はすごく参考になりました。
- 在宅診療の時間・内容・対応はどのようにしているのか？
- 先生がマスクをかけて話をしているので聞き取れなかった。
- エンディングノートの作成は急務だと思いました。
- 年齢も年齢なので、今後のことを考えエンディングノート作成をしようかなと思いました。
- スクリーンの時のグラフがボケて見にくい。
- 遺産分与の話は面白かった。
- エンディングノートの話を具体的に聞きたかったです。

- 今後も介護や医療など住民の関心が高い題目の講演をお願いします。
- 時間的にも良かった。
- 身につく講義だったかどうか？自分事にして考え、実践してもらえるかどうか？
- 今回の講演は在宅医療・介護だったが、若者も知っておくべきだと感じた。(データがとりだせないなど)
- 資産の整理(土地、建物、預貯金等)は理解していたが、デジタル関係については知らなかったがとても重要であることがわかって良かった。
- 自分が死んだ先のことまで考えなければならぬのは大変だと思いましたが、大切なことだと思いました。
- 在宅療養の方にとって東栄医療センターがとても心強い存在になっていると思いました。
- 設楽町の方はどこでどのように亡くなられているのかと思いました。
- 在宅医療を支える病院があることは地域の財産だと思います。北設全体で支えるという早川先生の言葉を大切にしたいです。
- 終活についての画像をペーパーレス化して参加者に資料として欲しかった。
- 声がこもって聞きづらかった。

## 講師への質問について

アンケート回答用紙に記載した「注意事項」のとおり、講演会の内容以外についての質問については回答を控えさせていただきます。

### (注意事項)

\* 質問内容については、「この講演会」に関することのみ受付させていただきます。  
講演会以外の質問、個人的な相談については回答を控えさせていただきますのでご了承ください。

お問い合わせ等については、各町村担当課までお願いいたします。

- ・ 設楽町一町民課：電話62-0519
- ・ 東栄町一福祉課：電話76-1815
- ・ 豊根村一住民課：電話85-1313

No.	質問・回答	
1	質問	スマホ解約(死亡のため)は、契約会社に持ち込めばデータの処理など対応してもらえるか？その時に死亡届などの書類は必要か？
	回答	対応が異なる場合があるので、契約しているスマートフォンのキャリアショップに確認していただくのが良いですが、基本的には①解約したいスマートフォン、②そのスマートフォンの契約者の「亡くなったことが分かる書類」と③来店者の本人確認ができるもの(運転免許証など)を持参することで、データ処理と解約の手続きをすることができます。補足ですが、スマートフォンで定額サービスを利用している可能性がある場合は、その解約も必要となる場合がありますので、そちらも忘れないように解約するようにしてください。
2	質問	在宅医療でできること、できないことは？
	回答	在宅で行うことのできる治療や処置は多岐に渡ってありますが、主治医や訪問看護ステーション、又は住んでいる環境により提供できる医療行為が違います。北設楽郡内でもできること、できないことがありますので、在宅医療介護サポートセンターに相談してください。 在宅医療介護サポートセンター：電話77-0960

3	質問	東栄町の在宅療養の患者さんにとって、東栄医療センター(現東栄診療所)が支えていることが分かりました(往診、訪問看護、急変時の対応など)。設楽町から東栄医療センター(現：東栄診療所)に通院する方は少ないと思いますが、かかりつけの場合は同じように対応していただけるのでしょうか(看取り、訪問看護など)。
	回答	医療機関の所在地と患者の自宅が16km以内でなければ、往診(看取り)はできません。(16km以上の場合は条件があります。)医療機関同士が連携して看取りをする場合もあります。または、在宅から入院できる医療機関へ繋がります。訪問看護は東栄診療所以外にもあります。状況によりどこの訪問看護が良いのか選択します。詳細については在宅医療介護サポートセンターまでご連絡ください。 在宅医療介護サポートセンター：電話77-0960